

# 始良市複合新庁舎建設基本構想・基本計画（原案）についての市民説明会実施報告

## 1 目的・趣旨

平成30年1月18日付けで、始良市複合新庁舎建設検討委員会からの答申を受けて、市は、始良市複合新庁舎建設基本構想・基本計画（原案）をとりまとめました。この原案について平成30年2月8日から3月9日までパブリックコメントを実施し、始良市複合新庁舎建設基本構想・基本計画の策定に向け、広く市民の皆様へ周知を図りながら意見募集することを目的とし、市民説明会を開催しました。

本報告書は、今回の説明会の際に、市民の皆様からいただいた主なご質問やご意見等及びそれに対する市の回答、考え方について会場ごとにまとめたものです。

## 2 開催日時、場所

開催日時、場所及び参加人数は次のとおりです。

日 時	場 所	参加人数
平成30年2月9日（金） 19:00～19:47	加音ホール	22
平成30年2月10日（土） 13:30～14:16	イオンタウン始良	30
平成30年2月10日（土） 19:00～19:58	イオンタウン始良	8
平成30年2月13日（火） 19:00～19:45	始良公民館	8
平成30年2月14日（水） 19:00～19:58	重富地区公民館	10
平成30年2月15日（木） 19:00～19:40	山田地区公民館	11
平成30年2月16日（金） 19:00～20:00	蒲生公民館	35
合計		124

## 3 出席者

市長 笹山 義弘

副市長 久保 力、西井上 洋子

総務部長 恒見 良一

秘書広報課、財政課、都市計画課、行政管理課（事務局）

## 4 説明会の周知方法

- ・ 広報紙 2017.12、2018.1月号
- ・ 始良市ホームページ（検討委員会の結果や資料等も随時掲載）
- ・ あいらびゅーFMで情報発信（11/8アンケート報告、1/24市民説明会の周知）
- ・ 始良市防災・地域情報メール（2/6、2/9）
- ・ 班回覧（1/15自治会文書）

# 始良市複合新庁舎建設基本構想・基本計画（原案）についての市民説明会 （加音ホール会場）実施報告

## 1 開催日時、場所及び参加人数

日 時	平成 30 年 2 月 9 日（金）午後 7 時 00 分から午後 7 時 47 分
場 所	始良市文化会館 加音ホール 小ホール
参加人数	22 人 ほか報道 1 社

## 2 質疑・意見と回答（意見に対する考え方）

※趣旨を損なわない範囲で要約しています。

No	質疑・意見の要旨及び内容	回答及び意見に対する考え方
1	原案の基本構想・基本計画の位置づけに、「複合」について明確に記載すべきではないか。	基本構想・基本計画を策定する段階で、「複合」の定義について明確にお示しします。
2	若者世代は、スマートフォン等に慣れ親しんでおり、今後、ネットワークを活用すべきでは。新庁舎の供用期間を何年と考えているか。	建物の長寿命化を図りながら、少しでも長く使える施設を考えています。将来的な行政組織の変化や市民ニーズの変化に柔軟に対応できる庁舎やレイアウトとし、行政機能の部分が減った場合は、公共空間として開放する仕組みについて考えていきます。
3	加治木、蒲生の両総合支所は、校区コミュニティ協議会で策定したまちづくりプランの推進のために、地域の中核となる、拠点となる施設を望む。	ご意見として承ります。
4	加治木総合支所は、新たな拠点についての事例（スライド No. 55）で説明のあった複合施設や芝生広場のようなになるか。	それぞれの地域の特性を生かした拠点とするために、来年度以降、地域の皆様と共に、地域の拠点として整備していきたいと考えています。
5	本庁舎の建設工事期間中は、加治木、蒲生の庁舎に事務所を移転するのか。	本庁舎で行っている業務をどのように継続していくかについては、設計の段階で検討していきたいと考えています。仮設庁舎を建設すると経費が掛かるので、経費削減を念頭に置きながら計画します。

## 始良市複合新庁舎建設基本構想・基本計画（原案）についての市民説明会 （イオンタウン始良 タウンホール会場）【昼の部】実施報告

### 1 開催日時、場所及び参加人数

日 時	平成 30 年 2 月 10 日（土）午後 1 時 30 分から午後 2 時 16 分
場 所	イオンタウン始良 西街区 タウンホール
参加人数	30 人 ほか報道 1 社

### 2 質疑・意見と回答（意見に対する考え方）

※趣旨を損なわない範囲で要約しています。

No	質疑・意見の要旨及び内容	回答及び意見に対する考え方
1	本庁舎の建設に際して、本庁舎に職員が集中するのか。	<p>一部分庁方式から本庁方式への移行について、始良市複合新庁舎建設検討委員会に了承いただき、原案においても本庁方式へ移行すると記載しています。これは、加治木庁舎の教育委員会（教育部）と蒲生庁舎の農業委員会及び農林水産部を始良本庁舎に集約することを示しています。</p> <p>加治木、蒲生の両総合支所については、市民サービス窓口等は、これまでの機能を更に強化することを検討しています。</p>
2	本庁舎に職員が集中した場合、職員駐車場の不足が懸念されるが、どのような対応を考えているか。	<p>現在、4か所の職員駐車場があります。本庁方式に移行することで、職員数は増えますが、自転車、バイク、自家用自動車、公共交通等の通勤手段を考慮しながら、駐車台数の確保について検討したいと考えています。</p>
3	高齢者福祉施設（加治木ふれあいセンター）がなくなるのは困る。	<p>市では、新庁舎建設と併せて、公共施設の再配置計画も進めています。庁舎に複合する施設等を十分に検討しながら、施設の維持管理費の増大や耐用年数等を考慮しながら、施設の統廃合について検討していきたいと考えています。</p>

## 始良市複合新庁舎建設基本構想・基本計画（原案）についての市民説明会 （イオンタウン始良 タウンホール会場）【夜の部】実施報告

### 1 開催日時、場所及び参加人数

日 時	平成 30 年 2 月 10 日（土）午後 7 時 00 分から午後 7 時 58 分
場 所	イオンタウン始良 西街区 タウンホール
参加人数	8 人

### 2 質疑・意見と回答（意見に対する考え方）

※趣旨を損なわない範囲で要約しています。

No	質疑・意見の要旨及び内容	回答及び意見に対する考え方
1	市民アンケートの回収率が 37.6%とあったが、有効な回答率といえるか。また、年代別の回答率が、ほぼ等しい結果となっているが、始良市の人口比率に即していないのでは。それぞれの年代から適切な意見を集約したとは言えないのでは。	18 歳以上で無作為に抽出した 3,000 人から 1,129 票の回答がありました。アンケートの回収率 37.6%は、統計学の数字から判断すれば、信頼性のある有効な回答率であると考えています。 市が実施するアンケートでは、年代別の回答率を把握しています。庁舎は、長く使用する施設ですので、20 代から 70 代まで、ほぼ等しい構成比率による回答を得ることができ、幅広い年代からご意見を伺えたと考えています。
2	市民アンケートの回答方法は、郵送とインターネットとなっているが、それぞれどのくらいの割合か。	回収数 1,129 票のうち、インターネットによる回答は 121 票であり、その割合は約 10.7%という結果となりました。
3	事務所設置方式に関するアンケート結果で、「本庁方式に移行しても構わない」という回答が過半であったようだが、この問いについて、10 代が回答できたと思うか。	10 代の回答者構成比率は約 2.5%という結果でした。それぞれの年代の判断により回答いただいたと考えています。
4	本庁方式への移行と、加治木、蒲生の総合支所庁舎の整備について説明があったが、分庁方式が継続するということか。	本庁方式への移行は、加治木庁舎の教育委員会（教育部）と蒲生庁舎の農業委員会及び農林水産部を始良本庁舎に集約することです。 加治木、蒲生の両総合支所については、市民サービス窓口等は、これまでの機能を更に強化することを検討しています。

5	<p>今回の市民説明会は、これまで3回開催されているが、現時点の参加者数は。また、予想した数の参加があるのか。参加率が少なければ、市民の意見が集約されず、市民と行政のコミュニケーションが取れているとはいえない。</p>	<p>現時点での参加者数は、約60人です。</p> <p>市では、現在、パブリックコメントによる意見募集を実施しています。また、ご指摘の内容も踏まえて、出前講座の制度を活用し、都合により市民説明会に参加できなかった方々の要請に応じて、こちらから出向いて説明することで対応していきたいと考えています。</p>
6	<p>建設事業費の財源として合併推進債を活用する場合、起債対象事業費のうち合併推進債が充当されない10%の一般財源が必要だが、財源の充てはあるのか。</p>	<p>庁舎建設基金として財源を確保しています。また、様々な補助金等を模索しながら、後年度の負担軽減に努めたいと考えています。</p>
7	<p>合併推進債を活用する場合、市が負担する経費に関する返済計画は。ホームページにある財政シミュレーションでは、公債費が増えていかないのはなぜか。新たな借入があれば、返済が増えるのは当然のことではないか。</p>	<p>ホームページで公開している財政シミュレーションは、庁舎建設事業ばかりではなく、例えば道路建設などの様々な事業との調整を図りながら、優先度に応じた財政計画に基づくものです。返済可能な金額に応じた借入を起し、市民の皆様に必要な財源を確保していきます。</p>
8	<p>公開されている市の財政状況を見れば、地方債が平成28年度3月時点で288億円とあり、これがさらに増えることで、他の予算が削減され、市民生活に負担があるのではないかと心配する。</p>	<p>児童、高齢者などの福祉施策に必要な扶助費等も増加傾向にある中で、庁舎建設等の事業を行えば財源が必要です。大きな事業に伴い、市民の皆様はご心配されると思いますが、長期的な視野で財政シミュレーションを立てながら、市民生活に負担のないよう調整したいと考えています。</p>
9	<p>近隣市では、コンビニエンスストア等で住民票の交付を受けることができる。昼間に仕事をする人は、市役所の開庁時間帯に窓口へ行くことができない状況がある。マイナンバーカードの活用など、新庁舎建設と併せて、窓口のあり方を考えているか。</p>	<p>開庁時以外の各種証明書発行については、コンビニエンスストアでの交付や、庁舎内に自動交付機を設置することなど、費用対効果を含めて検討しています。窓口サービスについては、庁舎建設と直接関係するものではありませんが、市民の皆様の利便性向上のため、庁舎建設と併せて検討していきたいと考えています。</p>

10	手続や制度に精通した案内役を配置するとあるが、今すぐにでも導入できるのでは。	総合案内については、新庁舎建設に合わせてではなく、少しずつ準備しながら、導入していきたいと考えています。
----	--	--

## 始良市複合新庁舎建設基本構想・基本計画（原案）についての市民説明会 （始良公民館会場）実施報告

### 1 開催日時、場所及び参加人数

日 時	平成 30 年 2 月 13 日（火）午後 7 時 00 分から午後 7 時 45 分
場 所	始良公民館 会議室 1～3
参加人数	8 人

### 2 質疑・意見と回答（意見に対する考え方）

※趣旨を損なわない範囲で要約しています。

No	質疑・意見の要旨及び内容	回答及び意見に対する考え方
1	例えば相続や保険年金など、関連する書類が一か所で受け取ることができ、ひとつの窓口で手続きができるような、ソフト面の充実を望む。	窓口機能の充実や総合案内の設置、ワンフロア化など、手続きに要する移動距離を短くするような庁舎を整備したいと考えています。また、自動交付機やコンビニエンスストアで交付が受けられることも併せて検討し、導入可能なものについては、新庁舎建設に関わらず対応していきたいと考えています。

## 始良市複合新庁舎建設基本構想・基本計画（原案）についての市民説明会 （重富地区公民館会場）実施報告

### 1 開催日時、場所及び参加人数

日 時	平成 30 年 2 月 14 日（水）午後 7 時 00 分から午後 7 時 58 分
場 所	重富地区公民館 会議室
参加人数	10 人

### 2 質疑・意見と回答（意見に対する考え方）

※趣旨を損なわない範囲で要約しています。

No	質疑・意見の要旨及び内容	回答及び意見に対する考え方
1	説明（資料）は、和暦に統一を。また、先進地事例の紹介では、施設の規模等の情報があればよい。	ご意見として承ります。
2	出前講座は、期限があるか。	期限はありません。
3	3 庁舎には共通の課題があると解するが、本庁舎を先行して建設するに至った経緯がわかりにくい。	東日本大震災や熊本地震の教訓から、本庁舎は、災害発生時に災害対策本部及び防災拠点としての機能を果たすことができない状況であることから、安全・安心な市民生活を確保するために、緊急性が高く、先行して建設する必要性があると考えています。
4	複合新庁舎の基本方針や機能から、どのような課題が解決するのかについて説明があればよい。	始良市複合新庁舎建設基本構想・基本計画（原案）の抜粋を説明しました。原案には、詳細の説明を記載しています。
5	事業費の縮減について、面積を削減する説明があった。延床面積の内訳に議会が 6 % とある。現在、2 号館に全ての議会機能があると思うが、どの機能について延床面積を算出しているか。	議会機能は、議場や委員会室等で構成されます。現時点では、全ての機能が新庁舎の延床面積の内訳として算出されています。複合新庁舎建設検討委員会の答申には、2 号館や 5 号館の有効活用について付帯意見があったことから、今後、議会と協議しながら計画していきたいと考えています。
6	現在、本館と 2 号館の間にある道路は渋滞が多く、駐車場にも入りにくい。本庁舎の建設に併せて、周辺の道路計画はあるか。	建物の計画ばかりではなく、交差点改良、バス停車帯の整備及び歩道整備などを検討し、アクセスしやすい道路を整備したいと考えています。



7	<p>道路整備ばかりではなく、市役所周辺のまちづくりを含めた将来像を描きながら、未来志向の計画を。市民からアイデアを募集するなど、夢が膨らむ計画を。</p>	<p>ご意見として承ります。</p>
8	<p>本庁舎の計画では、延床面積のみ記載されているが、何階建てを考えているか。</p>	<p>基本計画では、延床面積の目安として12,000 m<sup>2</sup>を示しています。本庁舎建設エリアの面積が約6,800 m<sup>2</sup>ですので、建ぺい率等を踏まえて、3階建て以上になると考えられます。今後、延床面積の削減に努めながら基本設計に入りますので、基本設計がまとまった段階で、何階建てになるかをお示しします。</p>

## 始良市複合新庁舎建設基本構想・基本計画（原案）についての市民説明会 （山田地区公民館会場）実施報告

### 1 開催日時、場所及び参加人数

日 時	平成 30 年 2 月 15 日（木）午後 7 時 00 分から午後 7 時 40 分
場 所	山田地区公民館 会議室
参加人数	11 人

### 2 質疑・意見と回答（意見に対する考え方）

※趣旨を損なわない範囲で要約しています。

No	質疑・意見の要旨及び内容	回答及び意見に対する考え方
	(質疑なし)	

## 始良市複合新庁舎建設基本構想・基本計画（原案）についての市民説明会 （蒲生公民館会場）実施報告

### 1 開催日時、場所及び参加人数

日 時	平成 30 年 2 月 16 日（金）午後 7 時 00 分から午後 8 時 00 分
場 所	蒲生公民館 文化ホール
参加人数	35 人 ほか報道 1 社

### 2 質疑・意見と回答（意見に対する考え方）

※趣旨を損なわない範囲で要約しています。

No	質疑・意見の要旨及び内容	回答及び意見に対する考え方
1	耐震性能の高い庁舎を計画するとあるが、桜島が大噴火した場合、津波の発生は予測しないのか。始良本庁舎の敷地は海拔が低く、津波が発生した際に、本庁に集積する情報のバックアップ対策について検討を。	始良本庁舎の海拔は約 9 m です。鹿児島県地域防災計画では、地震による津波の想定は、南海トラフ巨大地震で遡上高 3.0 m、鹿児島湾直下想定地震では遡上高 1.8 m とされています。また、桜島の若尊カルデラの噴火では、過去に約 6 m の津波による津波被害の記録があり、これらの規模以上の津波について想定しながら検討したいと考えています。また、情報のバックアップについても、併せて検討していきます。
2	市の現在の組織体制である、蒲生庁舎に農林水産部及び農業委員会、加治木庁舎に教育委員会（教育部）が、今後も維持されるか。	本庁方式への移行の大きな目的のひとつは、市民生活の安全・安心の確保にあります。東日本大震災や熊本地震の教訓から、災害発生時であっても、即座に災害対策本部を設置し、迅速な判断のもとで行政機能を維持・確保することができる防災拠点機能を備える庁舎を整備することが、市民生活の安全・安心の確保につながると考えています。 また、加治木、蒲生の両総合支所については、それぞれの地域が有する財産を活かしながら、地域拠点としてのあり方について地域の皆様と共に協議しながら計画し、3つの庁舎をもって始良市民の安全・安心を確保していきたいと考えています。
3	アンケート調査は 3,000 人が対象とあったが、回答率はどのくらいか。	18 歳以上で無作為に抽出した 3,000 人から 1,129 票の回答がありました。アンケートの回収率 37.6% は、統計学の数字から判断すれば、信頼性のある有効な回答率であると考えています。

4	<p>アンケート調査は信頼性のあるものとはいえ、本庁方式への移行については、市民の声を聴きながら、時間をかけて議論しながら判断していくべきではないか。始良市全体の振興を図りながら、現行の一部分庁方式を存続すべきと考える。</p>	<p>ご意見として承ります。</p> <p>本庁方式への移行については、市民アンケート結果を参考に、始良市複合新庁舎建設検討委員会で審議し、その結果をまとめた答申を受けて提案するものです。答申には、本庁方式へ移行した後も、それぞれの地域の拠点となる総合支所のあり方について、多くの市民参画の機会を設けながら検討すべきとの付帯意見がありました。この意見を尊重し、総合支所のあり方について、地域の皆様と共に検討していきたいと考えています。</p>
---	--	---